

『文章を読み取って、自分の主張を書こう』

筆者の主張  
若者言葉としての「やばい」は使  
うべきでない。

活用場面

「以前」  
都合の悪いもの、危険なものを示  
すのに使われていた。

「現在」  
「注意を向けるに値するもの」一  
般に使われている。

「しかし」  
一〇〇種類の表現を「やばい」に  
よって置き換えることができるよ  
うになる。

「便利、ラク」  
言語使用能力の低下が懸念される。

言語能力の低下 考える力の低下  
言語使用能力の低下

個別学習

個に応じた学習

思考を深める学習

協働学習

発表や話し合い

班で作成した本文の展開図 (Google スライド)

賛成	反対	一部賛成	一部反対
1*	2*	3*	4*
5*	6*	7*	8*
9*	10*	11*	12*
13*	14*	15*	16*
17*	18*	19*	20*

活用した機器等

Chromebook

活用したアプリ等

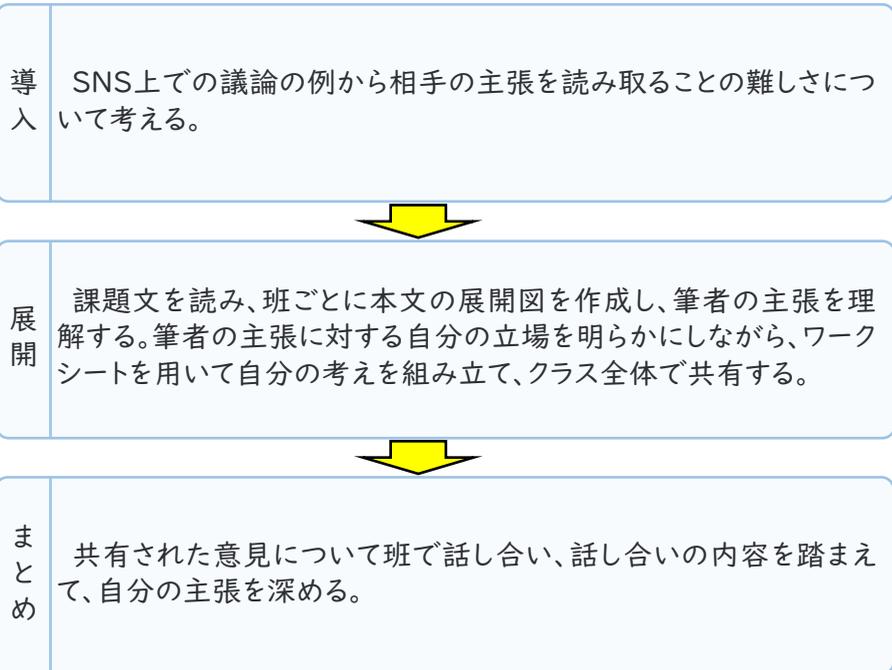
Google Classroom  
Google スライド  
Google ドキュメント  
Google スプレッドシート

自分の考えをクラス全体で共有 (Google スプレッドシート)

学習のねらい

課題文『感情とは何か』を題材として、筆者の主張を的確にとらえ、他の生徒の意見も参考にしながら自分自身の主張を文章にまとめる。

学習の流れ



ココでICTを活用!

- ①課題文の論理展開をより深く理解するために、Googleスライドを用いて班ごとに展開図を作成させる。論理展開を視覚的に整理させることで、本文のより深い理解につなげる。
- ②Googleドキュメントのワークシートの各項目について記入しながら、自分の主張を組み立てるように指導する。
- ③筆者の主張に対する自分の主張をGoogleスプレッドシートに入力させ、「賛成」「反対」「一部賛成」「一部反対」などの意見ごとにセルを色分けするようしておく。入力したスプレッドシートを黒板に映すことで、他の生徒の意見を簡単に見られる状態にし、クラス全体への共有が容易になるようにする。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

班で本文の展開図を作成することで、受け身の読解ではなく、対話的に読解を進めることができる。スプレッドシートへの入力と色分けでは、学習者があらゆる立場の意見とその表現の仕方を同時に学ぶことができる。特に、自分の主張を文章で表現することに困難を感じている学習者は、同じ立場をとる他者の表現を参考にすることができる。クラス全体での共有や班での話し合いを経て、自分の主張を磨くことができるため、「主体的・対話的で深い学び」の実現につながると考えられる。